
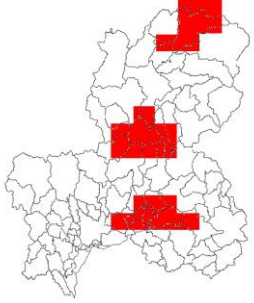


センボンギク	<i>Aster microcephalus</i> (Miq.) Franch. et Sav. var. <i>microcephalus</i>	絶滅危惧 I 類	
		キク科	
選定理由	生育地が極度に限定されているうえ、個体数が少ない。	<p>写真(清水英彦)</p> 	
形態の特徴	茎の高さ30-40cm、上方でよく分枝する。葉は線形で、長さ3.5-5.5cm、幅3.5-5mm、鋭尖頭、上面は短毛が少しあり、下面はほぼ無毛。頭花は直径1.5-2cm、花柄は長さ1.5-2cm。総苞は長さ3.5mm、総苞片は線形、緑色。舌状花は1列。		
生態的特徴	多年草で、冷温帯と暖温帯の川岸の岩に生える。花期は9-11月。		
分布状況	東北地方中部以南の本州に分布する。岐阜県では北部、中央部、南部に散在する。		
減少要因	河川の改修を計画するときは、この植物の有無を注意深く調査する。		
保全対策	普通種のノコンギクやシロヨメナなどと間違えやすいので注意を要する。		
特記事項			
参考文献			

文責: 高橋弘